

輸送動向について（7月分）

平成28年8月

1. 輸送概況

今月は、山陽線山口地区をはじめ各地で発生した大雨等の影響により、高速貨47本が運休となった（前年は高速貨208本、専貨4本が運休）。

コンテナは、食料工業品が関東・長野地区からの飲料等の発送が好調となったほか、鉄道へのシフトが続いている積合せ貨物が関東・関西地区を中心に増送となった一方で、自動車部品が熊本地震の影響が引き続き発送が低迷したほか、農産品・青果物が九州地区の玉葱の生育不良及び東北地区の民間流通米輸送の荷動き低調等から前年を下回り、コンテナ全体では、前年比99.0%となった。

車扱は、石油がガソリン価格の下落に伴う特約店の買い控え等により減送となった。車扱全体では、前年比97.5%となった。

コンテナ・車扱合計では、前年比98.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,848	1,867	99.0%	7,087	7,158	99.0%
車 扱	646	662	97.5%	2,515	2,444	102.9%
合 計	2,494	2,529	98.6%	9,602	9,602	100.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	123	125	-2	97.9%
	化学工業品	182	181	1	100.5%
	化学薬品	124	127	-3	97.4%
	食料工業品	357	348	9	102.3%
	紙・パルプ	260	262	-2	99.1%
	他工業品	130	143	-13	91.2%
	積合せ貨物	221	219	2	101.1%
	自動車部品	61	65	-4	92.6%
	家電・情報機器	41	41	0	99.7%
	エコ関連物資	37	39	-2	93.9%
	その他	314	315	-1	99.4%
	コンテナ計	1,848	1,867	-19	99.0%
車 扱	石油	401	425	-24	94.4%
	セメント・石灰石	121	125	-4	97.2%
	車 両	73	67	6	108.6%
	その他	51	46	5	111.9%
	車 扱 計	646	662	-16	97.5%
合 計		2,494	2,529	-35	98.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)